

家庭学習の手引き

子供の学力を学校と家庭の連携で向上させる！

家庭でも学習します！そうすると・・・

① 学習内容が定着します！

学校で学習した内容を家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校の授業だけでは、一人一人に合った量の練習ができず、なかなか定着しません。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

② 学ぶことが習慣化します！

毎日、家庭学習を続けることにより、勉強することが当たり前の習慣となり、学ぶ楽しさを身に付けることができます。集中力や学習することへの意欲が高まります。

③ 家族とのふれあいの時間が充実します！

音読を聞いてあげたり、分からないことを一緒に調べたりすることで、家族でコミュニケーションを図る機会となります。

将来における学びにつながります！

◆家庭学習の3つのポイント

① 毎日決めた時間に

習い事に通うなど、放課後の時間も限られているかと思います。

家族で話し合い、無理のない時間設定をして、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。

② 整った環境で集中して

テレビを見ながら、お菓子を食べながらなど、「ながら勉強」はさせないでください。保護者の目が行き届くところで、集中して取り組めるようご家庭で工夫してください。

③ 保護者のサポートを受けながら

子供が取り組んだことに目を通していただき、がんばりを認め、ほめてあげるなど、励ましの言葉をかけてください。時には、そばで一緒に取り組むなどして、子供の様子を把握してください。

◆家庭学習の方法

★まず学校の宿題をやります。

★余った時間で学年に応じて自主学習をやります。

★終わったら、時間割をそろえます。また、鉛筆を削るなど筆箱の中身を確認し、明日の準備をします。

◆家庭学習の内容

宿題について

★基本、毎日宿題を出します。

★主に学校で習ったことの習熟を図るものとします。

例：音読、ドリル、漢字や計算練習、プリントなど

自主学習について

★自分で課題を決めて取り組みます。

例：今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習ノートに書き写す

(以下の学年別取組例を参考に)

◆学年別取組例(保護者の方へ)

○低学年(1・2年生)

学習時間の目安 20～30分程度

基本的な学習習慣づくりをサポートする

- ・一緒にやって、やる気を起こさせる
- ・いつも決まった場所で取り組ませる
- ・次の日の学習準備を一緒に行う

<例>

- 教科書の文章をはっきりとした声で、正しくすらすらと読めるよう練習する。
- 出来事を思い出して、日記に書いてみる。
- 時計のいろいろな読み方を、お家の人と一緒に練習する。
- ひらがなやかたかなを正しく書く練習をする。
- 漢字の書き順や送り仮名に気を付けて書く練習をする。
- 日常生活の中で感じた疑問や調べたいこと等をノートなどにまとめる。

○中学年(3・4年生)

学習時間の目安 **30～40分**程度

子供のやる気を支え、学習習慣の定着を図る

- ・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかける
- ・学習を始める時間を一緒に決める
- ・学校からのお便り等を手渡して受け取る

<例>

- 教科書などの文章を、はっきりとした声と内容に合わせた読み方を意識して音読の練習をする。
- 一日を振り返り、したことや思ったことを日記に書く。
- ドリルなどを使って筆順に気を付けながら漢字練習をしたり、計算問題をたくさん解いたりする。
- 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- 理科や社会などで、今学習していることの内容について分かったことをまとめたり、もっと知りたいことについて調べたりする。

○高学年(5・6年生)

学習時間の目安 **50～60分**程度

見守り、励まし、自主性を伸ばす

- ・計画を立てて自力で学習を進められるよう見守る
- ・自分に合った生活リズムで取り組めるようにする
- ・学校であったことなど、子供の話をよく聞くようにする

<例>

- 情景を浮かべながら感情を込めて音読をしたり、詩や俳句などを暗唱、朗読したりする。
- 分からない言葉や漢字を辞書で調べて、用例等も書いておく。
- テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみる。
- 一日を振り返り、思ったことや考えたことを日記に書く。
- 理科や社会などで、今学習していることの内容について分かったことをまとめたり、もっと知りたいことについて調べたりする。